

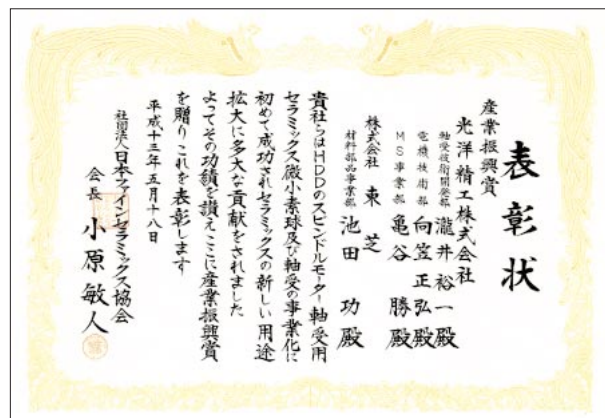
平成12年度日本ファインセラミックス協会賞(産業振興賞)受賞

Koyo Awarded Japan Fine Ceramic Association Prize

2001年5月、当社は(株)東芝との連名で社団法人日本ファインセラミックス協会(会長小原敏人氏)の平成12年度産業振興賞を受賞した。受賞テーマは「HDD(ハードディスクドライブ)スピンドルモータ軸受用セラミック素球の開発及び軸受の実用化」で、5月18日の日本ファインセラミックス協会の総会にて表彰式が行われた。

HDDは年々高速化、高容量化が図られており、HDDスピンドルモータに使用される軸受にも高速性、高精度、高信頼性が要求される。当社はセラミック素球の製造メーカーである(株)東芝と共同で、本用途に使用する微小素球の高信頼性、低価格、大量生産に対応する量産プロセスを確立するとともに高精度、低騒音、長寿命のHDDスピンドルモータ用セラミック軸受の実用化・事業化を達成した。このことはコンピュータ周辺機器、情報機器などの装置自体の高速化、高性能化に大きく貢献するとともに、新しいセラミック材料の用途・分野の拡大に大きく寄与したとして評価された。

社団法人日本セラミックス協会は、ファインセラミックスに関する情報の収集および提供、産業動向および標準化に関する調査研究などを行うことにより、ファインセラミックス産業の基盤の整備と振興を図り、産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的に1986年に設立された。産業振興賞は優れた技術開発を基礎としてファインセラミックスの機能を活用、発揮させることにより、ファインセラミックス産業の振興を通じ社会的貢献が顕著であったものに贈られるもので、毎年選考委員による審査を経て各種の賞が決定される。



セラミック軸受については、1982年に(株)東芝と窒化けい素材料を用いた共同研究に着手し、1984年に当社が世界で初めて実用化した。セラミック材料は、耐熱性、耐食性、軽量、非磁性、絶縁などの優れた特性を有しており、これらの特性を生かしたセラミック軸受は過酷な環境下や工作機械用に代表される高速回転用途などで実用化されてきた。当社はセラミック軸受の先駆者として、開発以来セラミック材料メーカーである(株)東芝とのパートナーシップで、セラミック軸受の用途開発を実施してきた。今回、HDDスピンドル用軸受としてセラミック軸受を実用化したことで、セラミック軸受の市場は大幅に拡大し、今後さらに広い分野での応用が期待できる。

最後に今回の受賞に対し、(株)東芝をはじめ関係各位へお礼申し上げますとともに今後も顧客の方々のニーズに対応した技術と製品の開発に広く取り組んでいきたい。

